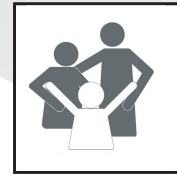


高機能自閉症 アスペルガー症候群セミナー 2017

ひと・まち交流館 京都 2017 年 7 月 8 日 (土)



主催：
京都府自閉症協会
NPO 法人 あすく
ONLY ONE の会
後援 (申請予定)：
京都府、京都市、京都府教育委員会、
京都市教育委員会、京都新聞社会福祉事業団、
京都府社会福祉協議会、
京都市社会福祉協議会、
京都知的障害者福祉施設協議会、
京都障害児者親の会協議会、
TEACCH プログラム研究会京都支部、
社会福祉法人京都総合福祉協会

高機能自閉症やアスペルガー症候群について、基本的な考え方からさまざまな場面、年代における具体的な支援まで学べるセミナーです。
今年、それぞれの特性に合った発達障害者としての生き方や、目指すべき理解、方向性について考えつつ、学齢期・思春期に起こる問題にどのように取り組み、どのように協働していくかを考えることをテーマとしています。
専門家・支援者・家族それぞれの立場のこれまでの経験に基づいたお話を伺う中で、何を目標しての支援なのかを学べるものとなっております。
学校の先生、保護者、関係機関の方、学生さんなど、関心のある方ならどなたでも参加していただけます。ぜひふるってご覧ください。

基調講演 10:00 ~

「ぼくらの中の発達障害・・・理解と支援を考える」
講師：青木省三 (川崎医科大学精神科学教室 教授)

① 第1分科会 13:30 ~

「目からウロコ!・・・自閉症の世界を疑似体験してみませんか」
講師：廣幡頭一 (京北やまぐにの郷)
ゲストスピーカー：保護者 (ONLY ONE の会)

② 第2分科会 13:30 ~

「自立に向けて本当に必要なことってなんだろう？」
司会・コーディネーター：田中一史 (京都市児童福祉センター)
パネリスト：岩井栄一郎 (立命館大学 障害学生支援室)
澤順子 (京都市発達障害者支援センター かがやき)
田中浩一郎 (京都市児童福祉センター)

③ 第3分科会 13:30 ~

「保護者と学校のよりよいコミュニケーションとは」
司会・コーディネーター：清水里美 (平安女学院大学)
パネリスト：荒井久美子 (京都府・京都市スクールカウンセラー)
馬見塚珠生 (親と子のこころのエンパワメント研究所)
保護者 (京都府自閉症協会 高機能・アスペルガー部)

④ 第4分科会 13:30 ~

「家族の『できること・できないこと』を見極める」～ひきこもり臨床の経験から～
講師：長谷川俊雄 (白梅学園大学子ども学部・教授、社会福祉士、精神保健福祉士)
司会：村松陽子 (京都市児童福祉センター)



日時：2017 年 7 月 8 日 (土)
場所：ひと・まち交流館京都
大会議室他

(京都市下京区河原町五条下る東側)
京都市バス「河原町正面」下車すぐ
京阪清水五条駅より徒歩8分
地下鉄五条駅より徒歩10分

京都府自閉症協会	正会員	1,000円
ONLY ONE の会	会員	1,000円
京都府自閉症協会	賛助会員	2,000円
一般		3,000円

**定員 300 名
(先着順)**

※申し込みいただいた方に
事前振り込みについての案内を
お送りします。
出来るだけパソコンか携帯での
申し込みをお願いします。

スマホ用QR



基調講演

「ぼくらの中の発達障害・・・理解と支援を考える」

講師：青木省三（川崎医科大学精神科学教室 教授）



発達障害をもつ子どもや大人に出会う機会が増えるにつれ、支援に関わる人たちの目が行動観察に向かい、肝心な心の内面にはなかなか向かわないことに気づきました。行動観察は大切なものですが、それだけではかえって、その子どもや大人の孤独を深いものとしします。行動や発達特性の背後にある不安や緊張、そして気持ちや考えがだれかに伝わったとき、それが人との繋がり契機となり、孤独を和らげます。

誰の中にも、発達障害の特性は微かに、時には明らかにあるものです。発達障害と定型発達の境界は実は不鮮明で、多くの方はグレーゾーンに生きていると思うと、支援も少し異なったものとなるのではないかと考えています。

1 第1分科会

「目からウロコ!・・・自閉症の世界を疑似体験してみませんか」

講師：廣幡 顕一（京北やまぐにの郷）

ゲストスピーカー：保護者（ONLY ONE の会）

自閉症スペクトラムの方が日常的に感じている伝えづらさや生きづらさを疑似体験を通してごく一部でも感じていただき、皆さんと一緒に自閉症の理解を深めていきたいと思ひます。なお、本分科会は例年の内容とほぼ同じです。過去に受講された方は他の分科会をお選び下さい。

2 第2分科会

「自立に向けて本当に必要なことってなんだろう？」

司会・コーディネーター：田中一史（京都市児童福祉センター）

パネリスト：岩井栄一郎（立命館大学 障害学生支援室）

澤順子（京都市発達障害者支援センター かがやき）

田中浩一郎（京都市児童福祉センター）

思春期以降は自立ということが現実的なテーマになってきますが、発達特性を持つ方々が自己を確立しながら自立していく過程には、様々な知恵と工夫が必要になってきます。

この分科会では、保護者の方からのご質問や実際に相談があった内容等をベースに

「幼少期からどんなことを大切にするとよいのか？」

「自立に役に立つ力とは何か？」「自立に向けての取り組みの実際とは？」

「よくある誤解とは？」などについて、支援に携わっているそれぞれの立場から語ってまいります。

③ 第3分科会

「保護者と学校のよりよいコミュニケーションとは」

司会・コーディネーター：清水里美（平安女学院大学）

パネリスト：荒井久美子（京都府・京都市スクールカウンセラー）

馬見塚珠生（親と子のこころのエンパワメント研究所）

保護者（京都府自閉症協会 高機能・アスペルガー部）

学校にどのように働きかければよいか、何をどのように伝えればよいか、迷われたことはないでしょうか？

この分科会では、学校と保護者のコミュニケーションにおいて、スクールカウンセラーやサポートチームが果たせる役割について具体的に紹介します。また、学校と保護者のコミュニケーションの実践例や保護者からの質問をもとに、コミュニケーションのコツや共通理解を得るための働きかけ方について共に学びたいと考えています。

④ 第4分科会

「家族の『できること・できないこと』を見極める」

～ひきこもり臨床の経験から～

講師：長谷川俊雄（白梅学園大学子ども学部・教授、
社会福祉士、精神保健福祉士）

司会：村松陽子（京都市児童福祉センター）

家族内に想定しないことが起きたとき、家族は困難とともに不安や焦りを手にします。そのこと自体は「健康的」な反応だと言えるでしょう。しかし、その状態が継続するとき、それ以外の問題が生じたり、家族関係が緊張や対立したりするなどの二次的な困難を手にすることがあります。「問題」への対処は必要なのですが、家族であるからこそ「問題」への対処が適切であるかどうか見極めが難しくなることがあります。家族は困難や不安・焦りに対してどう向きあっていけば良いのか考えていきます。

《注意事項》

※午後の分科会は、予め希望された分科会にご参加下さい。分科会参加証を各会場にてご提示ください。

※休憩時間は、12:30～13:30です。分科会開始の5分前には、会場にお入り下さい。

※大会議室での飲食はできません。

恐れ入りますが、昼食は、地下1階のフリースペースをご利用下さい。

※昼の休憩時間（12:30～）にロビーでパンとジュースの販売をいたします。

地下1階、3階には飲み物の自動販売機がございます。

お申し込みから受講まで

パソコン・携帯から

- 次のいずれかのホームページにアクセスしてください。
 京都府自閉症協会ホームページ <http://as-kyoto.com/>
 オンリーワンの会ホームページ <http://www.only1-kyoto.net/>

携帯・スマホからの場合はQRコードからアクセスして下さい。

- 申込フォームに必要事項を入力し送信して下さい。
- 送信が完了すると自動的に返信メールが返ってきます。
- 返信メールに記載されている振込口座に参加費をお振り込み下さい。
 期日までにご入金のない方はキャンセルと見なし、次の方に受講資格が移りますのでご注意下さい。
 尚、払込受領証はセミナー終了まで大切に保管して下さい。
 領収証が必要な方はセミナー当日受付までお申し出下さい。
 また入金後のキャンセルにつきましては、返金できませんのでご了承下さい。
- 入金確認後改めて詳細を記したメールを送らせていただきます。
 入金確認には3,4日要します。ご了承下さい。

※ 携帯からの申し込みの場合、only1-kyoto.netを受信できるようにしておいて下さい。
 返信メールが届かない場合は記入したメールアドレスが間違っている場合がありますので再度申し込みをお願いします。

パソコン、携帯からの申し込みが無理な場合は、FAXまたは郵送での申し込みもお受けしますが
 確認までに時間がかかることがあります。先着順の受付ですので満席になった場合参加いただけなかったり
 ご希望の分科会に入れなかったりすることがあります。
 なるべくパソコンか携帯・スマートホンでの申し込みをお願いします。

携帯用QR



http://www.only1-kyoto.net/esform/seminar_mobile.php

スマホ用QR



<http://www.only1-kyoto.net/seminar/contact.html>

FAX、郵送の場合

- 申込書に記入しFAXまたは郵送して下さい。
- 参加費振込先のお知らせが届きます。
- 参加費をお振り込み下さい。
- セミナー開催の1週間前までに参加証をメールまたはFAXでお送りします。
 メール・FAXが無い方には葉書を送付します。
 (申込、振込が実際の方には参加証は届きません)
- 当日受講番号をお知らせください。

高機能自閉症・アスペルガー症候群セミナー 2017 申込書

ふりがな		<input type="checkbox"/> 京都府自閉症協会正会員 <input type="checkbox"/> 京都府自閉症協会賛助会員 <input type="checkbox"/> ONLY ONE の会 <input type="checkbox"/> 一般
氏名		会員種別
勤務先		職名 職種 保護者の方は「保護者」とご記入下さい
● 分科会(第3希望まで必ずご記入下さい。同じ分科会を記載しないでください。)		
第1希望	分科会	第2希望
第3希望	分科会	
連絡先住所	〒	・自宅 ・勤務先
※ FAX欄に記入のない場合、振込先お知らせは郵送になります。参加証を郵送しますので連絡先住所は必ずご記入下さい		
TEL:	_____	・自宅 ・勤務先
FAX:	_____	・自宅 ・勤務先
E-MAIL	@	

受付FAX

075-813-5157

郵送先

〒602-8143

京都市上京区堀川通丸太町下る中之町519

京都社会福祉会館2階

京都府自閉症協会